

5 水 質 管 理

本章以降においては、便宜上、試験項目及び管理指標について次表の略称を使用する。

試 験 項 目 等	略 称	試 験 項 目	略 称
水素イオン濃度	pH	カドミウム及びその化合物、 カドミウム又はその化合物	カドミウム
溶存酸素量	DO	シアン化合物、全シアン	シアン
生物化学的酸素要求量	BOD	鉛及びその化合物、 鉛又はその化合物	鉛
化学的酸素要求量	COD	亜鉛含有量、 亜鉛及びその化合物	亜鉛
浮遊物質	SS	アルキル水銀化合物	アルキル水銀
窒素含有量	全窒素	ポリ塩化ビフェニル	PCB
リン含有量、リン含有量	全りん	有機リン化合物、 有機リン化合物	有機りん
活性汚泥浮遊物質	MLSS	セレン及びその化合物、 セレン又はその化合物	セレン
活性汚泥有機性浮遊物質	MLVSS	弗素含有量及びその化合物	ふっ素
返送汚泥浮遊物質	RSSS	砒素及びその化合物、 砒素又はその化合物	ひ素
返送汚泥有機性浮遊物質	RSVSS	ニッケル含有量、 ニッケル及びその含有量	ニッケル
活性汚泥沈降率	SV	2-クロロ-4,6-ビス(エチル アミノ)-s-トリアジン	シマジン
汚泥容量指標	SVI	S-4-クロロベンジル=N,N- ジエチルチオカルバマート	チオベン カルブ
汚泥密度指標	SDI	テトラメチルチウラム ジスルフィド	チウラム
生物反応タンク内混合液の 溶存酸素量	MLDO	フェノール類含有量	フェノール類
酸化還元電位	ORP	溶解性マンガン含有量	溶解性 マンガン
酸素利用速度係数	Kr	溶解性鉄含有量	溶解性鉄
好気タンク内混合液の 酸素利用速度	r _r	銅含有量、銅及びその化合物	銅
総括酸素移動容量係数	K _{La}	ノルマルヘキサン抽出物質含 有量、n-ヘキサン抽出物質	油分
蒸発残留物 (汚泥試験に限る)	固形分	六価クロム化合物	六価クロム
強熱減量 (汚泥試験に限る)	有機分	クロム含有量、クロム及び その含有量	全クロム
強熱残留物 (汚泥試験に限る)	無機分	ほう素含有量、硼素含有量	ほう素
化学的酸素要求量にかかる 汚濁負荷量	COD汚濁 負荷量	水銀及びアルキル水銀 その他の化合物、 水銀又はその化合物	総水銀
全窒素にかかる汚濁負荷量	T-N汚濁 負荷量		
全リンにかかる汚濁負荷量	T-P汚濁 負荷量		
生物反応タンク内 固形物滞留時間	SRT		
生物反応タンク内汚泥日令	SA		

(1) 概要

◎ 平成26年度の流入下水中のBOD、COD、SS、全窒素及び全りん濃度は下表のとおりである。状況としては平成25年度と比較してBODは同程度であり、全窒素、COD及び全りんはやや低めであった。

◎ 放流水の各濃度及び除去率も下表のとおりである。平成25年度と比較して、全りんがやや高く、全窒素、COD及び全りんはやや低めとなった。SSは同程度の除去状況であった。これは以下に示すようにCO₂排出量削減・電力使用量(原単位)削減運転の効果である。

◎ 前年度に引き続き、電力、次亜塩素酸ソーダ、PACを主としたユーティリティ費削減を念頭に操作を行い、より効率的な除去を目指した運転管理が年間を通じて行なわれた。処理条件は年間平均値にて以下のとおりであった。

返送率:26.0%, 送気倍率:3.5, 循環率:29.6%, PAC注入率:0.17mg/L

(PAC注入率は年間使用量を年間処理水量で除したものである。PAC注入を実施した時間があった日は年間で88日であった。)

全系列(改修工事中のA系列を除く)での生物反応槽攪拌機の間欠運転や運転台数削減、及び循環ポンプの通日停止(主に夏季)・返送率の削減運転・加圧濃縮槽稼働池数削減運転等を主とした電力使用量削減運転を行い、年間の原単位は-1.3%であった。(電力使用量は-0.7%)

◎ 放流水の有害物質、各汚濁負荷量の排水基準項目や排出ガス・悪臭・産業廃棄物にかかる有害物質溶出試験等について、基準値の超過はなかった。

項	目	単 位	平 成 26 年度	平 成 25 年度	平 成 24 年度
流 入 下 水	BOD	(mg/L)	122	124	121
	COD	(mg/L)	76.5	80.1	71.9
	SS	(mg/L)	102	109	106
	全窒素	(mg/L)	22.7	22.8	21.4
	全りん	(mg/L)	2.5	2.56	2.55
放 流 水	BOD	(mg/L)	2.5	2.4	2.9
	COD	(mg/L)	8.5	8.7	9.0
	SS	(mg/L)	<1	<1	<1
	全窒素	(mg/L)	8.8	9.4	9.3
	全りん	(mg/L)	1.33	1.20	1.41
除 去 率	BOD	(%)	98.0	98.1	97.6
	COD	(%)	88.9	89.1	87.5
	SS	(%)	100	100	100
	全窒素	(%)	61.2	58.8	56.5
	全りん	(%)	46.8	53.1	44.7

1. 試験内容

(ア) 水処理関係

試験名	試験回数	試料名	試験項目
平常試験1	2回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、放流水のみ)、 BOD(流入下水、放流水のみ)、 炭素系BOD(放流水のみ)、 COD、SS、大腸菌群数(流入下水、放流水のみ)、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)
平常試験2	2～3回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、放流水のみ)、COD、SS、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)、 大腸菌群数(流入下水、放流水のみ)
平常試験3	1回/週	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、放流水のみ)、 BOD(流入下水、放流水のみ)、 炭素系BOD(放流水のみ)、 COD、SS、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)
中試験	2回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、透視度、pH、DO(流入下水、放流水のみ)、BOD、 炭素系BOD(流入下水、分配井流出水、初沈流出水を除く)、 溶解性BOD(放流水を除く)、COD、 溶解性COD(放流水を除く)、蒸発残留物、 強熱減量、SS、 大腸菌群数(分配井流出水を除く)、 全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、 硝酸性窒素、有機性窒素、全りん、 りん酸イオン態りん、アルカリ度、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)、 塩化物イオン、よう素消費量(流入下水のみ)、 硫酸イオン(流入下水のみ)

(ア) 水処理関係 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
富栄養化試験	2回/月	流入下水 分配井流出水 A～E系初沈流出水 A～E系終沈流出水 急速ろ過棟流入水 放流水	水温、全窒素、アンモニア性窒素、 亜硝酸性窒素、 硝酸性窒素、有機性窒素、全りん、 りん酸イオン態りん、 残留塩素[遊離、結合](放流水のみ)、 塩化物イオン
活性汚泥試験	2回/週	生物反応槽混合液 返送汚泥	水温、MLSS、MLVSS、SV、SVI、 MLVSS/MLSS(%）、SDI、 浮上時間、pH(混合液は入口、出口)、 MLDO(混合液のみ、入口、出口)、 ORP(混合液のみ、入口、出口)
活性汚泥試験(Kr、r _r 等)	随時 (注1)	生物反応槽混合液	水温、Kr、r _r 、K _{La} 、MLSS、MLDO Kr [*] (ATU)、r _r (ATU)、K _{La} (ATU) (いずれも混合液、出口のみ)
活性汚泥生物試験	随時 (注2)	生物反応槽混合液	活性汚泥生物の定性
活性汚泥生物試験	1回/月 系列毎	生物反応槽混合液	活性汚泥生物の定量

(注1) 水処理状況が悪化傾向にあると判断されるときに実施する。

(注2) 概ね1回/月で実施(定量試験)するほかに、水処理状況が悪化又は回復傾向にあると判断されるときに実施する。(定性試験)

※ATUとはアрилチオ尿素の事であり、硝化作用を制御した分析に用いる試薬を指す。

(イ) 汚泥処理関係試験

試験名	試験回数	試料名	試験項目
汚泥・返送水試験	2回／月	汚泥 重力式濃縮槽： 濃縮汚泥 加圧浮上式濃縮槽： 濃縮汚泥 消化タンク： 円形一次移送汚泥 No.1卵形移送汚泥 No.2卵形移送汚泥 円形二次消化汚泥 脱水機： 供給汚泥 脱水ケーキ	温度(脱水ケーキを除く)、 pH(脱水ケーキを除く)、 固形分、含水率(脱水ケーキのみ)、 有機分、無機分、 アルカリ度(脱水ケーキを除く)、 揮発性有機酸(供給汚泥、脱水ケーキを除く)
		返送水 重力式濃縮槽： 分離液 加圧浮上式濃縮槽： 分離液 消化タンク： 脱離液 脱水機： 脱水ろ液 汚泥焼却炉： 焼却排水 急速ろ過棟： 急ろ洗浄排水	水温、pH、COD、蒸発残留物、 強熱残留物、強熱減量、SS、 溶解性物質、アルカリ度
汚泥・返送水中試験	4回／年 (毎四半期)	汚泥 汚泥・返送水試験 (汚泥)に同じ	温度(脱水ケーキを除く)、 pH(脱水ケーキを除く)、 固形分、含水率(脱水ケーキのみ)、 有機分、無機分、全窒素、全りん、 アルカリ度(脱水ケーキを除く)、 揮発性有機酸(供給汚泥、脱水ケーキを除く)
		返送水 汚泥・返送水試験 (返送水)に同じ 総合返送水	水温、pH、BOD、炭素系BOD、COD、 蒸発残留物、強熱残留物、強熱減量、 SS、溶解性物質、全窒素、 アンモニア性窒素、全りん、 りん酸イオン態りん、アルカリ度
消化ガス試験	1回／月	円形一次消化タンク No.1卵形一次消化タンク No.2卵形一次消化タンク 円形二次消化タンク 脱硫設備入口 脱硫設備中間 脱硫設備出口	メタン、水素、二酸化炭素、酸素、 窒素、硫化水素

(ウ) その他の試験

試験名	試験回数	試料名	試験項目
有害物質等試験	2回/月 流入下水で指定の項目については4回/年	流入下水 放流水	カドミウム、シアン、有機りん、鉛、六価クロム、 ひ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、 ジクロロメタン、四塩化炭素、 1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、 シス-1,2-ジクロロエチレン、 1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、 1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、 チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ほう素、 ふっ素、ヘキサン抽出物質、フェノール類、 銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、 全クロム、ニッケル、1,4-ジオキサン
管渠下水水質試験	1回/年	東幹線： 東部 北向日 南向日 羽束師 西淀 No.7-1 西淀 No.7-2 西幹線： 西部 西長岡 中央長岡 東長岡 南長岡 南幹線： 大山崎	pH、BOD、SS、ヘキサン抽出物質※、 全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、 硝酸性窒素、全りん、よう素消費量、 硫酸イオン、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、 溶解性マンガン、全クロム、ニッケル、カドミウム、 シアン、有機りん、鉛、六価クロム、ひ素、 総水銀、トリクロロエチレン、 テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、 四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、 1,1-ジクロロエチレン、 シス-1,2-ジクロロエチレン、 1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、 1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、 チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ほう素、 ふっ素、1,4-ジオキサン (以上、全測定地点)
微量有機塩素化合物等試験	4回/年 (毎四半期)	放流水	クロロホルム、 ブロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン、 ブロモホルム、総トリハロメタン、 (以上、トリハロメタン) クロロホルム生成能、 ブロモジクロロメタン生成能、 ジブロモクロロメタン生成能、 ブロモホルム生成能、 総トリハロメタン生成能 (以上、トリハロメタン生成能) アルミニウム、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、 トリクロロ酢酸、臭素酸、ホルムアルデヒド、 陰イオン界面活性剤、非イオン界面活性剤、 水温、pH

※ ヘキサン抽出物質については鉱物油類と動植物油脂類に分けて結果表示

(ウ) その他の試験 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質試験	2回/年 (夏・冬期) 試料・項目により 1回/年	溶出試験: 埋立処分(海面除く) 沈砂 し渣 脱硫剤 脱水ケーキ 焼却灰 脱硫剤(2種類) 溶出試験: 埋立処分 焼却灰 含有試験 脱水ケーキ 焼却灰	溶出試験: カドミウム、シアン、有機りん、鉛、六価クロム、 ひ素、総水銀、アルキル水銀、 PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、 ジクロロメタン、四塩化炭素、 1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、 シス-1,2-ジクロロエチレン、1,4-ジオキサン、 1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、 1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、 チオベンカルブ、ベンゼン、セレン (以上、[夏・冬期]) 含有試験: ヘキサン抽出物質、けい素、アルミニウム、鉄、 カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウ ム、 チタン、りん、マンガン、塩素、クロム、鉛、 ひ素、セレン(以上、焼却灰[夏期のみ]) 含水率、硫黄 (以上、脱水ケーキ、焼却灰[夏・冬期]) 含水率、強熱減量、ダイオキシン類 (以上、焼却灰[夏・冬期])
排ガス等試験	2~6回/年	[ダイオキシン類] (夏期のみ) 3号焼却炉排出口 (煙突入口) 流入下水 放流水 返送水 [排ガス] 加温用ボイラー No.1温水ボイラー No.2温水ボイラー 3号焼却炉排出口 (煙突入口)	[ダイオキシン類] (3号焼却炉排出口、流入下水、放流水、 返送水) [排ガス] 排ガス温度、排ガス流速、水分量、 二酸化炭素、一酸化炭素、酸素、窒素、 排ガス流量(湿り)、排ガス流量(乾き)、 ばいじん、硫酸化合物、窒素化合物 (以上、各ボイラー、3号焼却炉排出口) 塩化水素、シアン化水素、硫酸、ふっ素、 ひ素、水銀、全クロム、亜鉛、 (以上、3号焼却炉排出口のみ) 但し、3号焼却炉排出口について 排ガス温度、排ガス流速、水分量、 二酸化炭素、一酸化炭素、酸素、窒素、 排ガス流量(湿り)、排ガス流量(乾き)、 ばいじんについては6回/年測定
CODとUVの 関連試験	1回/年	放流口 UV計	COD (UV計の計測値とCOD実測結果より 直線回帰換算式と散布図を作成し、 関連・分散検定を行う)

(ウ) その他の試験 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
クリプトスポリジウム試験	4回/年	放流水	クリプトスポリジウム
作業環境中のダイオキシン類試験	2回/年 (夏・冬期)	3号焼却炉-灰搬出 作業場所 3号焼却炉-炉内 焼却灰排出箇所 脱水機棟2階 中央管理室	作業環境中のダイオキシン類として ガス状ダイオキシン類 粒子状ダイオキシン類 ガス状ダイオキシン類+粒子状 ダイオキシン類 (但し、冬期は粉塵濃度のみの測定とし、夏期に求めたD値を用いて濃度を算出する)
悪臭物質等試験	1回/年 (夏期)	敷地境界 排気ファン出口 脱臭装置: 入口 出口 作業環境: 沈砂池等 排水中の悪臭: 放流水	天候、温度、流速・流量、硫化水素等6物質、14物質、アセトアルデヒド、プロピオン酸 (以上、第1ポンプ棟脱臭装置入口、C,D系脱臭装置入口No.1、No.2 沈砂・し渣処理棟脱臭装置入口、 天候、温度、流速・流量、硫化水素等6物質、アセトアルデヒド、プロピオン酸 (以上、沈砂池排気ファン出口) 天候、温度、流速・流量、硫化水素等6物質、14物質、プロピオン酸 (以上、重力脱臭装置入口) 天候、温度、流速・流量、硫化水素等6物質、14物質、アセトアルデヒド (以上、重力脱臭装置出口、加圧脱臭装置出口) 天候、温度、流速・流量、硫化水素等6物質、プロピオン酸、2物質 (以上、C,D系脱臭装置出口) 天候、温度、流速・流量、硫化水素等6物質、2物質 (以上、脱水機棟脱臭装置出口) 天候、温度、流速・流量、硫化水素等6物質、プロピオン酸 (以上、第1ポンプ棟脱臭装置出口、A,B系脱臭装置入口No.1、No.2、 C,D系脱臭装置出口、E系脱臭装置入口、加圧脱臭装置入口No.1、No.2) 天候、温度、流速・流量、硫化水素等6物質 (以上、A,B系脱臭装置出口、E系脱臭装置出口、 脱水機棟脱臭装置入口No.1、No.2、焼却炉脱臭装置入口、出口) 天候、気温、湿度、硫化水素等6物質、アセトアルデヒド、プロピオン酸、 2物質 (以上、敷地境界の8箇所) 天候、温度、流速・流量、 排水中の悪臭4物質(以上、放流水)

注) 硫化水素等6物質: アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチル
 14物質: プロピオンアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソブチルアルデヒド、
 ノルマルバレリルアルデヒド、イソバレリルアルデヒド、イソブタノール、酢酸エチル、
 メチルイソブチルケトン、トルエン、スチレン、キシレン、ノルマル酪酸、
 ノルマル吉草酸、イソ吉草酸
 4物質: プロピオンアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソバレリルアルデヒド、ノルマル
 2物質: ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸
 排水中の悪臭4物質: メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル

(ウ) その他の試験 続き

試験名	試験回数	試料名	試験項目
再生利用水試験	4回/年 (毎四半期)	急ろ処理水としての 修景用水(アメニティ 送水) 水洗用水(公園送 水)	濁度、pH、外観、臭気 (以上、修景用水・水洗用水) 大腸菌群、色度 (以上、修景用水) 大腸菌、残留塩素[遊離、結合] (以上、水洗用水)

(エ) 試料採取時刻

試験種類	採取時刻及び方法
平常試験	24時間混合試料 (有機塩素系化合物についてはポイント採取)
中試験	
富栄養化試験	
有害物質等試験	
活性汚泥試験	ポイント採水(9時30分頃)
再生利用水試験	
活性汚泥(Kr)試験	適時採水
活性汚泥生物試験	
微量有機塩素化合物等試験	
CODとUVの相関分析試験	
クリプトスポリジウム試験	
汚泥・返送水試験	ポイント採取 (施設運転状況により適時採取)
汚泥・返送水中試験	
消化ガス試験	適時採取
その他のガス状検体	
脱水ケーキ、沈砂、し渣等	
焼却灰等の固形試料	

2. 試験方法

(ア) 平常試験・中試験・富栄養化試験

試験項目	単位	試験方法	備考
水温・温度	℃	規格7.2	
透視度	度	下水2.1.6	
pH	—	規格12.1	ガラス電極法
DO	mg/L	下水2.1.19.2	
BOD	mg/L	規格21	
炭素系BOD	mg/L	規格21備考1	
溶解性BOD	mg/L	規格21	試料をガラス繊維ろ紙にてろ過後分析
COD	mg/L	規格17	
溶解性COD	mg/L	規格17	試料をガラス繊維ろ紙にてろ過後分析
蒸発残留物	mg/L	下水2.1.9	
強熱減量	mg/L	下水2.1.11	
SS	mg/L	告示59号付表9	ガラス繊維ろ紙法
大腸菌群数	個/cm ³	省令第1号又はこれに準ずる方法	
全窒素	mg/L	規格45.1,2	下水2.2.29.2に準じる
アンモニア性窒素	mg/L	規格42.2,3,5	中和滴定法
亜硝酸性窒素	mg/L	規格43.1	イオンクロマトグラフ法
硝酸性窒素	mg/L	規格43.2.5	イオンクロマトグラフ法
有機性窒素	mg/L	規格44	ケルダール窒素法
全りん	mg/L	規格46.3	ペルオキシ二硫酸カリウムによる分解法
りん酸イオン態りん	mg/L	下水2.1.30.1.(1)	
塩化物イオン	mg/L	下水2.1.31.3	イオンクロマトグラフ法
硫酸イオン	mg/L	下水2.1.32.4	
よう素消費量	mg/L	省令第1号	
アルカリ度	mg/L	下水2.1.15.1	総アルカリ度
残留塩素・遊離残留塩素	mg/L	下水2.1.37.1(1), (2)	ジエチル- ρ -フェニレンジアミン法

(イ) 活性汚泥試験

試験項目	単位	試験方法	備考
水温	℃	下水4.1.2	
pH	—	下水4.1.4	ガラス電極法
ML(RS)SS	mg/L	下水4.1.6.1	遠心分離法
ML(RS)VSS	mg/L	下水4.1.7	
ML(RS)VSS/ML(RS)SS	%	下水4.1.7	
SV	%	下水4.1.8.1	活性汚泥沈降率
SVI	—	下水4.1.8.2	汚泥容量指標
SDI	—	下水4.1.8.3	汚泥密度指標
MLDO	mg/L	下水4.1.9.1	隔膜電極法
K _r	mgO ₂ /h·g	下水4.1.10.1	隔膜電極法
r _r	mgO ₂ /h·L	下水4.1.10.1	隔膜電極法
K _{La}	1/h	下水4.2.1	

(イ) 活性汚泥試験 (続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
ORP	mV	下水4.1.5	
浮上時間	min	—	

(ウ) 汚泥試験・汚泥中試験

試験項目	単位	試験方法	備考
水温	℃	下水5.1.2	ガラス製棒状温度計
pH	—	下水5.1.5	ガラス電極法
COD [※]	mg/L	下水2.1.22.1	
蒸発残留物 [※]	mg/L	下水5.1.6	
強熱残留物 [※]	mg/L	下水5.1.7	
強熱減量 [※]	mg/L	下水5.1.8	
SS [※]	mg/L	下水5.1.9	ガラス繊維ろ紙法
溶解性物質 [※]	mg/L	下水2.1.13	
アルカリ度 [▲]	mg/L	下水5.1.13	
固形分 [◎]	%	下水5.1.6	
含水率 [◎]	%	下水5.1.6	
有機分 [●]	%	下水5.1.8	
無機分 [●]	%	下水5.1.7	
BOD [※]	mg/L	下水2.1.21.1	
炭素系BOD [※]	mg/L	下水2.1.21.2	
有機性窒素 [※]	mg/L	下水2.1.28(1),(2)	
全窒素	mg/L	下水5.1.18	
揮発性有機酸 [△]	mg/L	下水5.1.14	水蒸気蒸留法
アンモニア性窒素 [※]	mg/L	下水5.1.17	
全りん	mg/L	下水5.1.19.2	
りん酸イオン態りん [※]	mg/L	下水2.1.30.1.(1)	
全窒素 [◎]	%	下水5.1.18	
全りん [◎]	%	下水5.1.19.2	

汚泥試験・汚泥中試験の※は分離液のみ ●は汚泥のみ ◎は脱水ケーキのみ ▲は脱水ケーキを除く △供給汚泥、脱水ケーキを除く

(エ) 消化ガス試験

試験項目	単位	試験方法	備考
メタン	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
水素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
二酸化炭素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
酸素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
窒素	%	下水5.5.2.1	ガスクロマトグラフ法
硫化水素	ppm	下水5.5.3.4	検知管法

(オ) 有害物質等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
カドミウム [※]	mg/L	規格55.3	ICP発光分光分析法
カドミウム [★]		規格55.4	ICP質量分析法
シアン	mg/L	規格38.1.2, 38.3	4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン 吸光光度法
有機りん	mg/L	告示64号 付表1	
鉛 [※]	mg/L	規格54.3	ICP発光分光分析法
鉛 [★]		規格54.4	ICP質量分析法
六価クロム	mg/L	規格65.2.1	ジフェニルカルバジド吸光光度法
ひ素 [※]	mg/L	規格61.2	水素化合物発生原子吸光法
ひ素 [★]		規格61.4	ICP質量分析法
総水銀	mg/L	告示59号 付表1	還元気化原子吸光法
アルキル水銀	mg/L	告示59号 付表2, 64号 付表3	ガスクロマトグラフ法
PCB	mg/L	規格K0093.5, 6 備考3	
トリクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
テトラクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
ジクロロメタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
四塩化炭素	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,2-ジクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
シマジン	mg/L	告示59号 付表5.1	
チウラム	mg/L	告示59号 付表4	
チオベンカルブ	mg/L	告示59号 付表5.1	
ベンゼン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
セレン [※]	mg/L	規格67.2	水素化合物発生原子吸光法
セレン [★]		規格67.4	ICP質量分析法
ふっ素 [※]	mg/L	規格34.1	ランタン-アリザリンコンプレキソン吸光光度法
ふっ素 [★]		規格34.1c及び環境庁 告示第59号付表6	イオンクロマトグラフ法
ほう素 [※]	mg/L	規格47.3	ICP発光分光分析法
ほう素 [★]		規格47.4	ICP重量分析法
1,4-ジオキサン	mg/L	告示59号 付表7	HS-GC-MS法
油分	mg/L	告示64号 付表4	
フェノール類	mg/L	規格28.1	4-アミノアンチピリン吸光光度法

有害物質等試験の※は流入下水についての分析方法。放流水については★印の方法で分析する。

(オ) 有害物質等試験 (続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
銅 [※]	mg/L	規格52.4	ICP発光分光分析法
銅 [★]		規格52.5	ICP質量分析法
亜鉛 [※]	mg/L	規格53.3	ICP発光分光分析法
亜鉛 [★]		規格53.4	ICP質量分析法
溶解性鉄	mg/L	規格57.4 備考12	ICP発光分光分析法
溶解性マンガン [※]	mg/L	規格56.4 備考8	ICP発光分光分析法
溶解性マンガン [★]		規格56.5 備考8	ICP質量分析法
全クロム [※]	mg/L	規格65.1.4	ICP発光分光分析法
全クロム [★]		規格65.1.5	ICP質量分析法
ニッケル [※]	mg/L	規格59.3	ICP発光分光分析法
ニッケル [★]		規格59.4	ICP質量分析法

有害物質等試験の※は流入下水についての分析方法。放流水については★印の方法で分析する。

(カ) 管渠下水水質試験

試験項目	単位	試験方法	備考
pH	—	下水2.1.8	ガラス電極法
BOD	mg/L	下水2.1.21.1	
SS	mg/L	下水2.1.12.1	ガラス繊維ろ紙法
油分(鉱油類)	mg/L	告示64号 付表4及び 規格附属書1補足Ⅱ.1.1	
油分(動植物油脂類)		告示64号 付表4及び 規格附属書1補足Ⅱ.1.2	
全窒素	mg/L	下水2.1.29	銅・カドミウムカラム還元法
アンモニア性窒素	mg/L	下水2.1.25.2	中和滴定法
亜硝酸性窒素	mg/L	下水2.1.26.2	イオンクロマトグラフ法
硝酸性窒素	mg/L	下水2.1.27.3	
全りん	mg/L	規格46.3.1	
よう素消費量	mg/L	下水2.1.35	
硫酸イオン	mg/L	下水2.1.32.4	
フェノール類	mg/L	規格28.1	4-アミノアンチピリン吸光度法
銅	mg/L	規格52.4	ICP発光分光分析法
亜鉛	mg/L	規格53.3	ICP発光分光分析法
鉄(溶解性)	mg/L	規格57.4 備考 12	ICP発光分光分析法
マンガン(溶解性)	mg/L	規格56.4 備考 8	ICP発光分光分析法
ニッケル	mg/L	規格59.3	ICP発光分光分析法
カドミウム	mg/L	規格55.3	ICP発光分光分析法
鉛	mg/L	規格54.3	
ひ素	mg/L	規格61.2	水素化合物発生原子吸光法
総水銀	mg/L	告示59号 付表1	還元気化原子吸光法
トリクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
テトラクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法

(カ) 管渠下水水質試験(続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
ジクロロメタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
四塩化炭素	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,2-ジクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
ベンゼン	mg/L	規格K0125.5.2	HS-GC-MS法
セレン	mg/L	規格67.2	水素化合物発生原子吸光法
ほう素	mg/L	規格47.3	ICP発光分光分析法
ふっ素	mg/L	規格34.1	ランタン-アリザリンコンプレキソン吸光光度法
1,4-ジオキサン	mg/L	告示59号 付表7	HS-GC-MS法

(キ) 再生利用水試験

試験項目	単位	試験方法	備考
大腸菌群数	個/100ml	下水6.4.2	
色度	度	下水2.1.4	
濁度	度	下水2.1.5	
pH	—	規格12.1	ガラス電極法
外観	—	下水2.1.3	
臭気	—	下水2.1.7	
大腸菌	—	上水試験方法2.1.3.2	ピルビン酸添加XGal-MUG培地
残留塩素・遊離残留塩素	mg/L	下水2.1.37.1	ジエチル- ρ -フェニレンジアミン法

(ク) 微量有機塩素化合物等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
総トリハロメタン	mg/L	告示261号 別表15	
クロホルム生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
プロモジクロロメタン生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
ジプロモクロロメタン生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
プロモホルム生成能	mg/L	告示219号	HS-GC-MS法
総トリハロメタン生成能	mg/L	告示219号	
アルミニウム	mg/L	告示261号 別表5	ICP-発光分光分析法
クロロ酢酸	mg/L	告示261号 別表17	溶媒抽出-GC-MS法
ジクロロ酢酸	mg/L	告示261号 別表17	溶媒抽出-GC-MS法
トリクロロ酢酸	mg/L	告示261号 別表17	溶媒抽出-GC-MS法

(ク) 微量有機塩素化合物等試験(続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
臭素酸	mg/L	告示261号 別表18	イオンクロマト-ポストカラム吸光光度法
ホルムアルデヒド	mg/L	告示261号 別表19	溶媒抽出-誘導体化-GC-MS法
陰イオン界面活性剤	mg/L	下水2.1.41.1	メチレンブルー吸光光度法
非イオン界面活性剤	mg/L	告示261号 別表28	
水温・温度	℃	下水2.1.2	
pH	-	下水2.1.8	ガラス電極法

(ケ) 自動計測器保守管理

試験項目	単位	試験方法	備考
COD汚濁負荷量	kg/日	下水1.5.12.3.(3)	特定排出水の汚濁負荷量測定はUVによる連続計測を実施
T-N汚濁負荷量	kg/日	下水2.1.29.1	特定排出水の汚濁負荷量測定は測定機の吸光光度による自動計測を実施
T-P汚濁負荷量	kg/日	下水2.1.30.3(1)	特定排出水の汚濁負荷量測定は測定機の吸光光度による自動計測を実施

(コ) クリプトスポリジウム試験

試験項目	単位	試験方法	備考
クリプトスポリジウム	個/L	下水処理のクリプトスポリジウム対策に関する暫定方針(案)	

(サ) 脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質[溶出試験]

試験項目	単位	試験方法	備考
カドミウム	mg/L	規格55.3	ICP発光分光分析法
シアン	mg/L	規格38.1.2, 38.3	4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン吸光光度法
有機りん	mg/L	告示64号 付表1	
鉛	mg/L	規格54.3	ICP発光分光分析法
六価クロム	mg/L	規格65.2.1	ジフェニルカルバジド吸光光度法
ひ素	mg/L	規格61.2	ICP発光分光分析法
総水銀	mg/L	告示59号 付表1	還元気化原子吸光法
アルキル水銀	mg/L	告示59 付表2, 告示64 付表3	ガスクロマトグラフ法
PCB	mg/L	規格K0093.5, 6 備考3	
トリクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
テトラクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
ジクロロメタン	mg/L	規格K0125.5.2	
四塩化炭素	mg/L	規格K0125.5.2	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	規格K0125.5.2	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	

(サ) 脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質 [溶出試験] (続き)

試験項目	単位	試験方法	備考
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	規格K0125.5.2	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	規格K0125.5.2	
チウラム	mg/L	告示59号 付表4	
シマジン	mg/L	告示59号 付表5第1	
チオベンカルブ	mg/L	告示59号 付表5第1	
ベンゼン	mg/L	規格K0125.5.2	
セレン	mg/L	規格67.2	
1,4-ジオキサン	mg/L	告示59号 付表7	HS-GC-MS法

(シ) 脱水ケーキ、沈砂、し渣等有害物質 [含有試験]

試験項目	単位	試験方法	備考
油分	mg/kg	下水5.1.24	
含水率	%	下水5.1.6	
熱しやく減量	%	下水5.1.8	昭和52年11月4日環境整第95号厚生省 環境衛生局水道環境部環境整備課長通知
けい素	%	下水3.2.28	重量法
アルミニウム	%	ICP発光分光分析法	
鉄	%	ICP発光分光分析法	
カルシウム	%	ICP発光分光分析法	
ナトリウム	%	ICP発光分光分析法	
マグネシウム	%	ICP発光分光分析法	
硫黄	%	下水5.1.22	
カリウム	%	ICP発光分光分析法	
チタン	%	ICP発光分光分析法	
りん	%	下水5.1.19	
マンガン	mg/kg	ICP発光分光分析法	
塩素	%	下水5.1.21	
クロム	%	ICP発光分光分析法	
マンガン	mg/kg	ICP発光分光分析法	
鉛	mg/kg	ICP発光分光分析法	
ひ素	mg/kg	水素化物発生原子吸光法	
セレン	mg/kg	水素化物発生原子吸光法	
クロム	%	ICP発光分光分析法	
ダイオキシン類	ng-TEQ/g	告示第192号	GC-MS法

(ス) 排ガス等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
CO ₂	%	規格K0301.5.1	オルザット分析方法
O ₂	%	規格K0301.5.1	オルザット分析方法
CO	%	規格K0098.6	検知管法
N ₂	%	規格K0301.5.1	オルザット分析方法
排ガス温度	℃	規格K0301,0098	
排ガス流速	m/s	規格Z8808.8.3	ピトー管法
水分量	%	規格Z8808.6.1	吸湿管法
(湿り)流量	Nm ³ /h	規格Z8808.8.4.1.a)	
(乾き)流量	Nm ³ /h	規格Z8808.8.4.2	
ばいじん	g/h	規格Z8808.10,11	円筒ろ紙採取法
硫酸化物	cm ³ /Nm ³	規格K0103.7.1	
窒素酸化物	cm ³ /Nm ³	規格K0104.7.2	亜鉛還元ナフチルエチレンジアミン 吸光光度法
塩化水素	cm ³ /Nm ³	規格K0107.7.1	イオンクロマトグラフ法
	mg/Nm ³		
シアン	mg/Nm ³	規格K0109.7.2	4-ピリジンカルボン酸-ピラゾロン 吸光光度法
硫酸	mg/Nm ³	規格K0103.7.1 準拠	イオンクロマトグラフ法
ふっ素	mg/Nm ³	規格K0105.5.4.1	ランタン-アリザリンコンプレキソン吸光光度法
ひ素	mg/Nm ³	規格K0083.14.2	水素化合物発生原子吸光法
総水銀	mg/Nm ³	規格K0222.5	湿式吸収-還元気化原子吸光分析法
全クロム	mg/Nm ³	規格K0083.12.4	ICP発光分光分析法
亜鉛	mg/Nm ³	規格K0083準拠	ICP発光分光分析法
ダイオキシン類(水質)	pg-TEQ/L	規格K0312	
ダイオキシン類(排ガス)	ng-TEQ/m ³	規格K0311	

(セ) 悪臭物質等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
アンモニア	volppm	告示9号 別表1	
メチルメルカプタン	volppm	告示9号 別表2	
硫化水素	volppm	告示9号 別表2	
硫化メチル	volppm	告示9号 別表2	
二硫化メチル	volppm	告示9号 別表2	
アセトアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
プロピオンアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
ノルマルブチルアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
イソブチルアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
ノルマルバレルアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
イソバレルアルデヒド	volppm	告示9号 別表4	
イソブタノール	volppm	告示9号 別表5	
酢酸エチル	volppm	告示9号 別表6	
メチルイソブチルケトン	volppm	告示9号 別表6	
スチレン	volppm	告示9号 別表7	
キシレン	volppm	告示9号 別表7	

(七) 悪臭物質等試験

試験項目	単位	試験方法	備考
トリメチルアミン	volppm	告示9号 別表3	
トルエン	volppm	告示9号 別表7	
プロピオン酸	volppm	告示9号 別表8	
ノルマル酪酸	volppm	告示9号 別表8	
ノルマル吉草酸	volppm	告示9号 別表8	
イソ吉草酸	volppm	告示9号 別表8	
硫化水素(排水)	mg/L	告示9号 別表2	
メチルメルカプタン(排水)	mg/L	告示9号 別表2	
硫化メチル(排水)	mg/L	告示9号 別表2	
二硫化メチル(排水)	mg/L	告示9号 別表2	

(ソ) 作業環境中のダイオキシン類試験

試験項目	単位	試験方法	備考
ダイオキシン類(夏期)	pg-TEQ/m ³	基発第401号の2	
ダイオキシン類(冬期)	pg-TEQ/m ³	総粉塵D値換算	粉塵濃度を測定しD値を求める

注)

- 下 水 : 下水試験方法(2012)
- 規 格 : 日本工業規格JIS K 0102(2013) 工場排水試験方法
- 規 格 K 0083 : 日本工業規格JIS K 0083(2006) 排ガス中の金属分析方法
- 規 格 K 0093 : 日本工業規格JIS K 0093(2006) 用水排水中のポリクロロビフェニル(PCB)の試験方法
- 規 格 K 0098 : 日本工業規格JIS K 0098(1998) 排ガス中の一酸化炭素分析方法
- 規 格 K 0103 : 日本工業規格JIS K 0103(2011) 排ガス中の硫黄酸化物分析方法
- 規 格 K 0104 : 日本工業規格JIS K 0104(2011) 排ガス中の窒素酸化物分析方法
- 規 格 K 0105 : 日本工業規格JIS K 0105(2012) 排ガス中のふっ素化合物分析方法
- 規 格 K 0107 : 日本工業規格JIS K 0107(2012) 排ガス中の塩化水素分析方法
- 規 格 K 0109 : 日本工業規格JIS K 0109(2014) 排ガス中のシアン化水素分析方法
- 規 格 K 0222 : 日本工業規格JIS K 0222(1997) 排ガス中の水銀分析方法
- 規 格 K 0301 : 日本工業規格JIS K 0301(2005, 2008) 排ガス中の酸素分析方法
- 規 格 K 0125 : 日本工業規格JIS K 0125(1995) 用水・排水中の揮発性有機化合物試験方法
- 規 格 K 0312 : 日本工業規格JIS K 0312(2005, 2008) 工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法
- 規 格 Z 8808 : 日本工業規格JIS Z 8808(2013) 排ガス中のダスト濃度の測定方法
- 省 令 第 1 号 : 昭和37年12月17日厚生省・建設省令第1号「下水の水質の検定方法に関する省令」
- 告 示 9 号 : 昭和47年5月30日 環境庁告示第9号, 改正平成12年3月28日 環境庁告示第17号 [特定悪臭物質の測定の
方法]
- 告 示 59 号 : 昭和46年12月28日 環境庁告示59号 [水質汚濁に係る環境基準について] 最終改正 (平成26年11月17日
環庁省告示126号)
- 告 示 64 号 : 昭和49年9月30日 環境庁告示64号 [排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が 定める排水基準
に係る検定方法] (最終改正 平成26年3月20日 環境省告示41号)
- 告 示 192 号 : 平成4年7月3日 厚生省告示第192号別表1
溶出液の作成は昭和48年2月17日 環境庁告示13号 [産業廃棄物に含まれる金属等の
検定方法] (最終改正 平成25年2月21日 環境省告示9号) による
- 告 示 261 号 : 平成15年7月22日 厚生労働省告示第261号 [水質基準に関する省令]
- 告 示 219 号 : 平成6年7月4日 厚生労働省告示219号 [水質基準に関する省令の表の上欄に掲げる事項以外の事項に係る
水質の検査の方法]
- 基 発 401 号 : 平成13年4月 厚生労働省基発401号の2 [廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策
要綱]
- 上 水 試 験 方 法 : 上水試験方法 2011年版 特定酵素基質培地法 XGal-MUG法

(3) 数値の取り扱い方法

(ア) 有効数字について

- ① 気温、水温(温度)、pHは、読み取り数値を小数点以下1桁とし、読み取った数値は全て有効数字である。
- ② 分析操作によって得られた有効数字は、項目ごとの(別表)に示す桁数とし、その下の桁をJIS Z-8401により丸める。
 - ・生活環境保全に関する項目のうち(別表1)に示す項目は、原則として3桁とする。
 - ・活性汚泥項目(別表2)は原則として3桁とする。
 - ・その他重金属は、2桁とする。
- ③ 報告最小位は、項目ごと別表(1~3)に示し、報告最小位の下を、JIS Z-8401により丸める。
- ④ 定量下限値を下回る数値は、切捨てとし、「<定量下限値」で表示する。

(イ) 平均値について

- ① 報告値を用いて平均値を算出し、有効数字のその下の桁を四捨五入とする。
- ② 平均値については、定量下限値未満の数値は「0」として算出し、平均値が定量下限値未満となる場合は「<定量下限値」と表示する。
(透視度(>100)については、「100」として算出する。
- ③ 最大値、最小値、平均値の表記は「最大、最小、平均」とする。

(別表1)

試 験 項 目	(単位)	記 載 方 法		
		有 効 数 字	最 小 位	最 小 数 字
pH		全桁	小数点以下1桁	-
BOD	(mg/L)	3桁	〃	<0.1
SS	(mg/L)	3〃	整数1位	<1
大腸菌群数	(個/cm ³)	2〃	〃	0

(別表2)

試 験 項 目	(単位)	記 載 方 法		
		有 効 数 字	最 小 位	最 小 数 字
水温	(℃)	全桁	小数点以下1桁	-
ML(RS)SS	(mg/L)	3桁	整数1位	0
ML(RS)VSS	(mg/L)	3〃	〃	0
ML(RS)VSS/ML(RS)SS	(%)	3〃	小数点以下1桁	0.0
SV	(%)	2〃	整数1位	0
SVI		3〃	〃	0
MLDO	(mg/L)	2〃	小数点以下1桁	0.0

(別表3)

区分	試 験 項 目	定量限界 (mg/L)	記 載 方 法		
			有効数字	最 小 位	最小数字
有 害 物 質	カドミウム	0.003	2桁	小数点以下3桁	<0.003
	シアン	0.05	2桁	〃 2桁	<0.05
	有機りん	0.01	2桁	〃 2桁	<0.01
	鉛	0.01	2桁	〃 2桁	<0.01
	六価クロム	0.04	2桁	〃 2桁	<0.04
	ヒ素	0.01	2桁	〃 2桁	<0.01
	総水銀	0.0005	2桁	〃 4桁	<0.0005
	アルキル水銀	0.0005	2桁	〃 4桁	<0.0005
	PCB	0.0005	2桁	〃 4桁	<0.0005
	トリクロロエチレン	0.008	2桁	〃 3桁	<0.008
	テトラクロロエチレン	0.002	2桁	〃 3桁	<0.002
	ジクロロメタン	0.002	2桁	〃 3桁	<0.002
	四塩化炭素	0.0002	2桁	〃 4桁	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0004	2桁	〃 4桁	<0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.002	2桁	〃 3桁	<0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.004	2桁	〃 3桁	<0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.03	2桁	〃 2桁	<0.03
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0006	2桁	〃 4桁	<0.0006
	1,3-ジクロロプロペン	0.0002	2桁	〃 4桁	<0.0002
	チウラム	0.0006	2桁	〃 4桁	<0.0006
	シマジン	0.0003	2桁	〃 4桁	<0.0003
	チオベンカルブ	0.002	2桁	〃 3桁	<0.002
	ベンゼン	0.001	2桁	〃 3桁	<0.001
	セレン	0.001	2桁	〃 3桁	<0.001
	ほう素	0.01	2桁	〃 2桁	<0.01
	ふっ素	0.5(流入下水)	2桁	〃 1桁	<0.5
		0.1(放流水)	2桁	〃 1桁	<0.1
	1,4-ジオキサン	0.05	2桁	〃 2桁	<0.05
油分	0.5	2桁	〃 1桁	<0.5	
フェノール類	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02	
銅	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02	
亜鉛	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02	
溶解性鉄	0.08	2桁	〃 2桁	<0.08	
全クロム	0.03	2桁	〃 2桁	<0.03	
ニッケル	0.05	2桁	〃 2桁	<0.05	
ダイオキシン類(注)	0.00001	2桁	〃 5桁	<0.00001	
有 害 物 質 以 外 の も の	油分(鉱油類含有量)	0.5	2桁	〃 1桁	<0.5
	油分(動植物油脂類含有量)	0.5	2桁	〃 1桁	<0.5
	フェノール類	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02
	銅	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02
	亜鉛	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02
	溶解性鉄	0.08	2桁	〃 2桁	<0.08
	溶解性マンガン	0.01	2桁	〃 2桁	<0.01
	全クロム	0.03	2桁	〃 2桁	<0.03
	全窒素	0.1	3桁	〃 1桁	<0.1
	全りん	0.01	3桁	〃 2桁	<0.01
	ニッケル	0.05	2桁	〃 2桁	<0.05
	硫酸イオン	0.1	3桁	〃 1桁	<0.1
	よう素消費量	0.1	3桁	〃 1桁	<0.1
	陰イオン界面活性剤	0.1	2桁	〃 1桁	<0.1
非イオン界面活性剤	0.02	2桁	〃 2桁	<0.02	

(注). ダイオキシン類(排水中)のみ単位はpg-TEQ/L

(4) 試験結果

ア 流入下水

平成26年度

区分	試験項目	平成26年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		平成27年1月		2月		3月		回数	年最大 (注)	年平均 (注)	
		平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大	平均	最大				
技術上の基準項目	pH	7.4	7.5	7.3	7.4	7.3	7.3	7.3	7.4	7.3	7.5	7.3	7.4	7.3	7.5	7.3	7.4	7.3	7.5	7.3	7.7	7.3	7.5	7.3	7.4	121	7.7	7.3	
	月最小	—	(7.3)	—	(7.2)	—	(7.2)	—	(7.2)	—	(7.1)	—	(7.2)	—	(7.1)	—	(7.2)	—	(7.1)	—	(7.1)	—	(7.2)	—	(7.2)	—	(7.1)		
	BOD (mg/L)	139	163	132	143	121	132	119	130	98.0	124	111	128	117	128	127	136	122	135	114	120	135	151	126	160	90	163	122	
	SS (mg/L)	114	148	107	122	102	114	96	116	79	94	97	112	99	110	107	116	103	114	106	120	106	122	111	136	121	148	102	
	大腸菌群数 (個/cm ³)	150,000	220,000	140,000	160,000	180,000	240,000	180,000	280,000	250,000	520,000	180,000	210,000	160,000	190,000	160,000	200,000	270,000	550,000	120,000	150,000	150,000	210,000	160,000	280,000	71	550,000	170,000	
全窒素 (mg/L)	25.0	27.6	22.0	23.8	22.5	23.4	21.2	21.8	17.4	20.1	21.2	23.5	21.9	23.2	23.4	24.1	24.4	26.0	24.5	25.7	25.0	26.1	23.8	25.8	47	27.6	22.7		
全りん (mg/L)	2.73	3.25	2.58	3.00	2.45	2.63	2.42	2.50	1.83	2.15	2.35	2.63	2.39	2.51	2.66	2.84	2.72	3.12	2.60	2.98	2.68	2.83	2.59	3.46	47	3.46	2.50		
有害物質	カドミウム (mg/L)			< 0.003	< 0.003					< 0.003	< 0.003					< 0.003	< 0.003					< 0.003	< 0.003			4	< 0.003	< 0.003	
	シアン (mg/L)			< 0.05	< 0.05					< 0.05	< 0.05					< 0.05	< 0.05					< 0.05	< 0.05			4	< 0.05	< 0.05	
	有機りん (mg/L)			< 0.01	< 0.01					< 0.01	< 0.01					< 0.01	< 0.01					< 0.01	< 0.01			4	< 0.01	< 0.01	
	鉛 (mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
	六価クロム (mg/L)			< 0.04	< 0.04					< 0.04	< 0.04					< 0.04	< 0.04					< 0.04	< 0.04			4	< 0.04	< 0.04	
	ヒ素 (mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
	総水銀 (mg/L)			< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005			4	< 0.0005	< 0.0005	
	アルキル水銀 (mg/L)			< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005			4	< 0.0005	< 0.0005	
	P C B (mg/L)			< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005					< 0.0005	< 0.0005			4	< 0.0005	< 0.0005	
	トリクロエチレン (mg/L)			< 0.008	< 0.008					< 0.008	< 0.008					< 0.008	< 0.008					< 0.008	< 0.008			4	< 0.008	< 0.008	
	テトラクロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
	ジクロロメタン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
	四塩化炭素 (mg/L)			< 0.0002	< 0.0002					< 0.0002	< 0.0002					< 0.0002	< 0.0002					< 0.0002	< 0.0002			4	< 0.0002	< 0.0002	
	1,2-ジクロロエタン (mg/L)			< 0.0004	< 0.0004					< 0.0004	< 0.0004					< 0.0004	< 0.0004					< 0.0004	< 0.0004			4	< 0.0004	< 0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)			< 0.002	< 0.002					< 0.002	< 0.002					< 0.002	< 0.002					< 0.002	< 0.002			4	< 0.002	< 0.002	
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)			< 0.004	< 0.004					< 0.004	< 0.004					< 0.004	< 0.004					< 0.004	< 0.004			4	< 0.004	< 0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)			< 0.03	< 0.03					< 0.03	< 0.03					< 0.03	< 0.03					< 0.03	< 0.03			4	< 0.03	< 0.03	
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)			< 0.0006	< 0.0006					< 0.0006	< 0.0006					< 0.0006	< 0.0006					< 0.0006	< 0.0006			4	< 0.0006	< 0.0006	
	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)			< 0.0002	< 0.0002					< 0.0002	< 0.0002					< 0.0002	< 0.0002					< 0.0002	< 0.0002			4	< 0.0002	< 0.0002	
	チウラム (mg/L)			< 0.0006	< 0.0006					< 0.0006	< 0.0006					< 0.0006	< 0.0006					< 0.0006	< 0.0006			4	< 0.0006	< 0.0006	
	シマジン (mg/L)			< 0.0003	< 0.0003					< 0.0003	< 0.0003					< 0.0003	< 0.0003					< 0.0003	< 0.0003			4	< 0.0003	< 0.0003	
	チオベンカルブ (mg/L)			< 0.002	< 0.002					< 0.002	< 0.002					< 0.002	< 0.002					< 0.002	< 0.002			4	< 0.002	< 0.002	
	ベンゼン (mg/L)			< 0.001	< 0.001					< 0.001	< 0.001					< 0.001	< 0.001					< 0.001	< 0.001			4	< 0.001	< 0.001	
	セレン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
	ほう素 (mg/L)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11	0.09	0.10	0.09	0.09	0.15	0.17	0.11	0.11	0.10	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.09	0.10	24	0.17	0.10
ふっ素 (mg/L)	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	
アンモニア性窒素等含有量 (mg/L)	5.7	6.0	5.3	5.9	5.1	5.2	4.8	4.9	3.9	4.6	5.0	5.5	5.5	5.9	5.6	5.8	6.1	6.6	6.2	6.5	6.6	6.9	5.9	6.1	47	6.9	5.5		
1,4-ジオキサン (mg/L)			0.019	0.019	< 0.005	< 0.005			< 0.005	< 0.005					< 0.005	< 0.005					< 0.005	< 0.005			6	0.019	< 0.005		
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)					0.14	0.14																				1	0.14	0.14	
有害物質以外のもの	油分(鉱油類含有量) (mg/L)		< 0.5	< 0.5					< 0.5	< 0.5					< 0.5	< 0.5					< 0.5	< 0.5			4	< 0.5	< 0.5		
	油分(動植物油脂類含有量) (mg/L)		4.8	4.8					16	16					16	16					20	20			4	20	14		
	フェノール類 (mg/L)		< 0.02	< 0.02					< 0.02	< 0.02					< 0.02	< 0.02					< 0.02	< 0.02			4	< 0.02	< 0.02		
	銅 (mg/L)		0.02	0.02					< 0.02	< 0.02					0.02	0.02					0.02	0.02			4	0.02	0.02		
	亜鉛 (mg/L)		0.06	0.06					0.07	0.07					0.07	0.07					0.06	0.06			4	0.07	0.07		
	溶解性鉄 (mg/L)		0.18	0.18					0.28	0.28					0.20	0.20					0.18	0.18			4	0.28	0.21		
	溶解性マンガン (mg/L)		0.05	0.05					0.15	0.15					0.06	0.06					0.06	0.06			4	0.15	0.08		
	全クロム (mg/L)		< 0.03	< 0.03					< 0.03	< 0.03					< 0.03	< 0.03					< 0.03	< 0.03			4	< 0.03	< 0.03		
	ニッケル (mg/L																												

ウ 汚濁負荷量測定結果 (合計)

(1) COD

目 月	COD値(mg/L)			汚濁負荷量(kg/日)		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均
平成26年4月	10.3	8.0	9.7	1451.8	990.4	1103.8
5月	10.2	8.6	9.4	1475.9	933.9	1080.9
6月	9.8	8.8	9.3	1177.3	984.0	1072.0
7月	9.7	7.5	9.2	1313.4	920.6	1087.1
8月	9.8	5.4	7.5	2123.2	968.7	1175.3
9月	9.3	8.2	8.8	1338.9	931.1	1079.3
10月	10.5	8.3	9.7	1601.0	1035.8	1149.7
11月	10.5	9.5	10.0	1267.1	1090.2	1147.6
12月	10.1	8.2	9.3	1223.3	919.3	1050.1
平成27年1月	10.5	8.1	9.5	1407.6	842.7	1088.3
2月	11.1	9.2	10.1	1332.8	1007.5	1120.7
3月	10.5	8.6	9.6	1389.7	1018.4	1138.8
年 間	11.1	5.4	9.3	2123.2	842.7	1107.9

(2) 全窒素

目 月	全窒素(mg/L)			汚濁負荷量(kg/日)		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均
平成26年4月	11.16	7.98	9.24	1419.8	922.7	1040.7
5月	11.31	8.29	9.51	1406.7	905.1	1089.2
6月	9.12	6.85	7.78	1053.3	768.0	895.6
7月	8.82	5.98	7.06	1088.0	696.0	829.8
8月	7.54	4.77	5.88	1516.6	689.2	946.3
9月	8.49	5.61	7.18	1229.0	708.4	872.8
10月	10.53	7.16	8.28	1519.3	817.6	994.4
11月	11.98	8.60	10.42	1588.7	1011.3	1202.9
12月	11.25	7.64	9.25	1285.4	874.4	1045.1
平成27年1月	12.63	8.30	10.04	1378.2	811.5	1139.8
2月	11.79	8.96	10.00	1305.4	938.1	1094.8
3月	10.62	7.81	9.08	1404.8	920.5	1078.1
年 間	12.63	4.77	8.64	1588.7	689.2	1016.3

(3) 全りん

目 月	全りん(mg/L)			汚濁負荷量(kg/日)		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均
平成26年4月	1.658	0.518	1.034	188.41	55.18	116.41
5月	1.890	0.352	1.003	211.09	38.42	114.89
6月	1.727	0.331	0.866	199.37	37.19	99.69
7月	1.448	0.406	0.983	175.48	43.28	115.80
8月	1.715	0.584	1.117	318.93	101.63	177.05
9月	1.354	0.572	1.079	166.92	72.22	131.08
10月	1.694	0.900	1.234	257.95	111.74	148.28
11月	1.581	0.928	1.255	182.88	107.15	144.90
12月	1.634	1.072	1.365	202.83	119.19	154.08
平成27年1月	1.804	0.673	1.277	214.18	65.80	145.09
2月	1.718	1.233	1.456	189.58	133.75	159.25
3月	1.763	0.966	1.285	228.97	109.01	152.43
年 間	1.890	0.331	1.163	318.93	37.19	137.68

(注1) COD値, 全窒素, 全りん各濃度及び各汚濁負荷量は、放流水1, 放流水2の合計である。

(注2) 汚濁負荷量は、測定値の日合計量を表し、その値を排水量で除した値が濃度である。

(注3) 年間データはそれぞれ月最大の最大、月最小の最小、月平均の平均を表す。

エ 焼却灰溶出試験結果

単位：mg/I

区分	試料採取年月日 溶出試験項目	平成26年 7月15日		平成27年1月14日		金属等を含む 産業廃棄物 に係る判定基 準
		埋立処分(海面埋 立処分を除く)	海面埋立処分	埋立処分(海面埋 立処分を除く)	海面埋立処分	
有害	カ ド ミ ウ ム	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.003	0.3 以下
	シ ア ン	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	1 以下
	有 機 り ん	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	1 以下
	鉛	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.3 以下
	六 価 ク ロ ム	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	1.5 以下
	ひ 素	0.01	0.01	< 0.01	0.01	0.3 以下
	総 水 銀	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.005 以下
	ア ル キ ル 水 銀	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	検出されないこと
	P C B	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.003 以下
	トリクロロエチレン	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	0.3 以下
	テトラクロロエチレン	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.1 以下
	ジクロロメタン	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.2 以下
	四 塩 化 炭 素	< 0.0002	< 0.0002	0.0003	0.0012	0.02 以下
	1, 2-ジクロロエタン	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	0.04 以下
	物質	1, 1-ジクロロエチレン	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
シス-1, 2-ジクロロエチレン		< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.4 以下
1, 1, 1-トリクロロエタン		< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	3 以下
1, 1, 2-トリクロロエタン		< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	0.06 以下
1, 3-ジクロロプロペン		< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.02 以下
ベ ン ゼ ン		< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.1 以下
チ ウ ラ ム		< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	0.06 以下
シ マ ジ ン		< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	0.03 以下
チ オ ベ ン カ ル ブ		< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.2 以下
セ レ ン		0.11	0.20	0.12	0.040	0.3 以下
1, 4-ジオキサン	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.5 以下	

オ 活性汚泥・返送汚泥試験成績

B, C系

区分	試験項目	年月	平成26年									平成27年			回数	年最大 (注)	年最小 (注)	年平均 (注)	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
B	生物反応槽混合液	水温 (°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	
		pH	—	6.7	6.6	6.7	6.7	6.7	6.6	6.6	6.5	6.6	—	6.5	65	6.7	6.5	6.6	
		MLSS (mg/L)	—	1,280	1,410	1,390	1,130	1,290	1,200	1,460	1,430	1,540	—	1,150	65	1,540	1,130	1,330	
		MLVSS (mg/L)	—	1,050	1,140	1,130	928	1,070	1,000	1,230	1,210	1,290	—	954	65	1,290	928	1,100	
		MLVSS/MLSS (%)	—	81.9	81.0	81.7	82.4	83.1	83.3	83.7	84.4	83.7	—	83.0	65	84.4	81.0	82.8	
		SV (%)	—	25	36	39	24	25	25	40	42	38	—	20	65	42	20	31	
		SVI	—	191	260	278	209	195	210	275	291	248	—	174	65	291	174	233	
		MLDO (mg/L)	入口	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	—	0.1	65	0.1	0.0	0.0	
		出口	—	1.9	1.6	1.7	1.9	1.4	1.9	3.9	1.7	—	1.0	65	3.9	1.0	2.1		
	ORP (mV)	入口	—	65	75	53	83	76	87	102	137	—	145	65	162	53	99		
		出口	—	160	162	164	177	200	224	219	227	—	232	65	264	160	203		
	系	返送汚泥	水温 (°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	
			pH	—	6.7	6.7	6.7	6.7	6.8	6.7	6.5	6.5	6.6	—	6.6	65	6.8	6.5	6.7
			RSSS (mg/L)	—	4,170	4,490	4,430	4,140	4,120	3,970	4,530	4,760	5,090	—	3,930	65	5,090	3,930	4,360
RSVSS (mg/L)			—	3,400	3,630	3,620	3,410	3,410	3,330	3,790	4,020	4,290	—	3,260	65	4,290	3,260	3,610	
RSVSS/RSSS (%)			—	81.4	80.8	81.7	82.3	82.9	83.9	83.5	84.5	84.2	—	83.0	65	84.5	80.8	82.8	
SV (%)			—	94	97	95	94	93	93	99	99	98	—	80	65	99	80	94	
SVI			—	226	217	216	227	228	236	219	208	193	—	204	65	236	193	217	
C	生物反応槽混合液	水温 (°C)	21.1	22.6	24.3	26.0	25.6	25.6	24.7	23.2	21.0	19.5	18.8	19.1	102	26.0	18.8	22.6	
		pH	6.6	6.6	6.5	6.7	6.6	6.7	6.6	6.5	6.4	6.4	6.4	6.5	102	6.7	6.4	6.5	
		MLSS (mg/L)	1,620	1,570	1,540	1,580	1,490	1,570	1,540	1,510	1,630	1,680	1,460	1,390	102	1,680	1,390	1,550	
		MLVSS (mg/L)	1,330	1,290	1,250	1,270	1,220	1,290	1,260	1,240	1,370	1,400	1,250	1,170	102	1,400	1,170	1,280	
		MLVSS/MLSS (%)	82.2	82.2	81.2	80.6	81.5	82.5	81.9	82.1	84.0	83.8	85.4	84.7	102	85.4	80.6	82.7	
		SV (%)	42	35	37	41	40	42	38	31	40	47	44	42	102	47	31	40	
		SVI	260	221	240	263	268	267	244	205	249	281	299	296	102	299	205	258	
		MLDO (mg/L)	入口	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	102	0.0	0.0	0.0
		出口	1.2	1.5	1.5	1.7	2.0	1.5	1.7	1.8	2.2	2.5	2.5	2.4	102	2.5	1.2	1.9	
	ORP (mV)	入口	61	70	68	11	33	16	57	71	105	93	68	112	102	112	11	64	
		出口	134	136	151	123	131	131	142	160	168	169	170	187	102	187	123	150	
	系	返送汚泥	水温 (°C)	22.7	24.0	24.8	26.3	26.2	26.2	24.8	23.5	21.2	19.6	18.6	18.9	102	26.3	18.6	23.1
			pH	6.6	6.5	6.5	6.5	6.5	6.6	6.6	6.5	6.4	6.5	6.5	6.6	102	6.6	6.4	6.5
			RSSS (mg/L)	6,530	6,320	6,080	6,240	5,490	6,110	6,520	6,100	6,390	6,810	6,540	5,520	102	6,810	5,490	6,220
RSVSS (mg/L)			5,410	5,190	4,950	5,060	4,470	5,010	5,310	4,990	5,360	5,740	5,460	4,600	102	5,740	4,470	5,130	
RSVSS/RSSS (%)			82.9	82.1	81.4	81.0	81.4	81.9	81.4	81.8	83.9	84.3	83.4	83.2	102	84.3	81.0	82.4	
SV (%)			99	99	98	98	99	100	100	99	99	100	99	97	102	100	97	99	
SVI			156	158	165	161	189	165	159	177	158	151	155	177	102	189	151	164	

(注) 年最大、年最小、年平均はそれぞれ月最大の最大、月最小の最小、月平均の平均を表す。

A系列は、工事中のため生物反応槽としては使用しなかった。

D, E系

区分	試験項目	年月	平成26年									平成27年			回数	年最大 (注)	年最小 (注)	年平均 (注)		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
D	生物反応槽混合液	水温	(°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	
		pH		6.6	6.6	6.6	6.6	6.7	6.7	6.6	6.5	6.4	6.4	6.4	6.5	102	6.7	6.4	6.6	
		MLSS	(mg/L)	1,390	1,380	1,340	1,280	1,310	1,280	1,240	1,520	1,500	1,510	1,520	1,460	102	1,520	1,240	1,390	
		MLVSS	(mg/L)	1,160	1,120	1,060	1,030	1,070	1,060	1,020	1,240	1,260	1,280	1,290	1,230	102	1,290	1,020	1,150	
		MLVSS/MLSS	(%)	83.2	81.0	79.5	80.5	81.6	83.0	82.5	81.7	84.5	84.6	84.4	84.2	102	84.6	79.5	82.6	
		SV	(%)	23	20	28	30	36	32	29	35	38	36	33	32	102	38	20	31	
		SVI		168	144	211	237	271	247	233	232	254	241	216	218	102	271	144	223	
		MLDO	入口	(mg/L)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	102	0.1	0.0	0.0	
		出口	(mg/L)	2.0	1.9	1.9	1.4	1.6	1.4	1.6	1.8	1.6	2.1	1.6	1.8	102	2.1	1.4	1.7	
	ORP	入口	(mV)	48	48	45	17	35	16	52	67	89	92	53	103	102	103	16	55	
		出口	(mV)	134	130	138	118	127	128	137	153	170	169	160	176	102	176	118	145	
	系	返送汚泥	水温	(°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	
			pH		6.6	6.6	6.6	6.6	6.5	6.6	6.6	6.5	6.4	6.5	6.4	6.6	102	6.6	6.4	6.5
			RSSS	(mg/L)	4,800	4,760	4,340	4,930	4,410	4,410	4,470	6,570	5,910	5,870	5,590	5,620	102	6,570	4,340	5,140
RSVSS			(mg/L)	4,000	3,860	3,440	3,930	3,590	3,620	3,670	5,370	4,960	4,980	4,700	4,700	102	5,370	3,440	4,230	
RSVSS/RSSS			(%)	83.4	81.2	79.2	79.6	81.5	82.0	82.0	81.6	83.9	84.8	84.0	83.6	102	84.8	79.2	82.2	
SV			(%)	94	87	99	99	97	100	99	98	99	99	99	97	102	100	87	97	
SVI				199	184	230	202	236	228	224	160	172	172	179	175	102	236	160	197	
E	生物反応槽混合液	水温	(°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—		
		pH		6.6	6.5	6.6	6.6	6.6	6.6	6.5	6.5	6.3	6.4	6.4	6.5	102	6.6	6.3	6.5	
		MLSS	(mg/L)	1,450	1,410	1,390	1,400	1,220	1,320	1,330	1,440	1,380	1,500	1,520	1,440	102	1,520	1,220	1,400	
		MLVSS	(mg/L)	1,190	1,140	1,100	1,140	989	1,090	1,100	1,180	1,140	1,240	1,260	1,210	102	1,260	989	1,150	
		MLVSS/MLSS	(%)	81.6	80.8	79.6	81.1	81.5	82.7	82.3	82.1	82.9	82.9	82.9	83.4	102	83.4	79.6	82.0	
		SV	(%)	27	25	28	33	32	36	31	34	34	46	38	27	102	46	25	33	
		SVI		187	175	198	234	264	274	231	234	248	302	245	187	102	302	175	232	
		MLDO	入口	(mg/L)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	102	0.2	0.0	0.1	
		出口	(mg/L)	2.1	1.9	2.1	1.4	1.5	1.4	1.5	1.5	1.6	2.0	2.0	102	2.1	1.4	1.7		
	ORP	入口	(mV)	-10	-10	-2	-19	12	-19	6	41	54	60	32	78	102	78	-19	19	
		出口	(mV)	139	134	141	118	129	129	140	152	169	168	159	173	102	173	118	146	
	系	返送汚泥	水温	(°C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	
			pH		6.6	6.5	6.5	6.5	6.5	6.6	6.5	6.4	6.4	6.4	6.4	6.5	102	6.6	6.4	6.5
			RSSS	(mg/L)	5,430	5,080	4,870	5,540	4,460	5,390	5,450	6,350	5,990	5,740	6,020	4,810	102	6,350	4,460	5,430
RSVSS			(mg/L)	4,410	4,080	3,880	4,470	3,640	4,420	4,460	5,160	4,950	4,770	4,970	4,020	102	5,160	3,640	4,440	
RSVSS/RSSS			(%)	81.3	80.3	79.7	80.7	81.6	82.0	81.7	81.2	82.7	83.1	82.6	83.5	102	83.5	79.7	81.7	
SV			(%)	98	89	95	100	99	100	100	100	98	99	99	94	102	100	89	98	
SVI				184	179	196	183	226	191	184	160	165	177	167	197	102	226	160	184	

(注) 年最大、年最小、年平均はそれぞれ月最大の最大、月最小の最小、月平均の平均を表す。

(5) 水質管理状況

施設	年 月		平成26年4月					平成26年5月					平成26年6月				
			A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)		143,628					146,622					148,667				
	場内返送水量 (m ³ /日)		14,339					14,448					14,692				
	滞留時間(注1) (時間)		0.6					0.6					0.6				
	揚水量 (m ³ /日)		144,603					148,226					150,108				
最沈殿池	簡易処理量 (m ³ /日)				46,977	47,510	67,873		21,986	45,176	45,267	66,340		22,478	41,211	40,340	63,069
	生汚泥量 (m ³ /日)				284	282	407		200	281	276	401		206	283	272	401
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)				89.0	90.0	95.9		80.8	85.6	87.2	93.7		82.6	78.1	79.5	89.1
	沈殿時間 (時間)				0.7	0.7	0.6		0.8	0.7	0.7	0.6		0.7	0.8	0.8	0.7
生物反応 タンク	高級処理量 (m ³ /日)				46,692	47,227	67,465		21,785	44,895	44,991	65,938		22,272	40,928	40,068	62,667
	返送汚泥量 (m ³ /日)				9,339	9,106	13,027		9,794	8,997	8,660	12,677		10,129	8,216	7,751	12,072
	返送率 (%)				20.0	19.3	19.3		45.4	20.1	19.2	19.2		45.5	20.1	19.4	19.3
	循環水量 (m ³ /日)				15,154	16,428	19,474			15,089	10,264	12,583			15,252		12,738
	循環率 (%)				32.7	35.1	29.0			33.8	22.0	19.2			37.4		19.8
	滞留時間(Q) (時間)				7.2	9.5	9.7		10.6	7.5	9.8	9.9		10.0	8.2	10.7	10.4
	滞留時間(Q+R) (時間)				6.0	7.9	8.1		7.3	6.2	8.2	8.3		6.9	6.8	9.0	8.7
	空気量 (m ³ /日)				185,002	172,869	208,386		78,192	177,460	177,525	216,476		84,982	162,073	168,585	206,471
	下水量当り空気倍率 (倍)				4.0	3.7	3.1		3.6	4.0	3.9	3.3		3.8	4.0	4.2	3.3
	除去BOD当り空気倍率 (倍)				51.6	45.7	37.8		50.3	51.9	51.6	39.9		55.5	59.7	62.1	44.5
	除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)				0.6	0.3	0.6		0.4	0.5	0.4	0.4		1.2	0.2	0.3	0.4
	活性汚泥	MLSS (mg/L)			1,620	1,390	1,450		1,280	1,570	1,380	1,410		1,410	1,540	1,340	1,390
		SV (%)			42	23	27		25	35	20	25		36	37	28	28
	汚泥性状	SVI			260	168	187		191	221	144	175		259	240	211	198
		RSSS (mg/L)			6,530	4,800	5,430		4,170	6,320	4,760	5,080		4,490	6,080	4,340	4,870
	MLDO	入口 (mg/L)			0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.1		0.0	0.0	0.0	0.0
		出口 (mg/L)			1.2	2.0	2.1		1.9	1.5	1.9	1.9		1.6	1.5	1.9	2.1
SRT (日)				12.1	18.8	15.4		13.8	14.0	17.7	20.5		12.2	12.5	25.2	19.5	
S A (日)				10.5	11.0	11.6		18.0	12.2	12.7	12.5		19.2	16.5	15.1	13.9	
BOD-SS負荷 (kg/kg・日)				0.18	0.16	0.15		0.14	0.17	0.15	0.15		0.12	0.15	0.12	0.13	
BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)				0.29	0.21	0.22		0.18	0.26	0.20	0.21		0.17	0.22	0.17	0.18	
Ca・t(MLSS × 滞留時間)				11,773	13,486	14,287		12,350	11,478	13,409	13,918		13,886	12,527	14,235	14,309	
PAC注入率 (pg/L)				140.0					100.0					65.0			
最沈殿池	終沈流出量 (m ³ /日)				46,405	46,917	67,012		21,570	44,644	44,693	65,545		21,988	40,733	39,845	62,264
	余剰汚泥量 (m ³ /日)				288	311	453		216	251	299	393		284	196	223	404
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)				19.0	19.2	24.4		17.1	18.2	18.6	23.8		17.5	16.6	16.9	22.6
	越流負荷 (m ³ /m・日)				54.7	55.3	119.0		51.1	52.7	53.6	116.4		52.1	48.0	48.9	110.6
沈殿時間 (時間)				5.1	5.0	4.0		5.8	5.3	5.2	4.0		5.5	5.8	5.7	4.2	
急過速池	処理水量 (m ³ /日)				174,310				175,500					183,530			
	滞留時間 (時間)				0.06				0.06					0.06			
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)				403.5				406.3					424.9			
塩素混合池	放流量 1 (m ³ /日)				143,606				146,597					148,645			
	塩素注入率 (mg/L)				2.2				2.2					2.1			
	滞留時間 (時間)				0.4				0.4					0.4			
	放流量 2(注2) (m ³ /日)				1,440				1,442					1,442			

(注1) 揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。

(注2) 放流量 2 は長岡京市(勝竜寺堀水)への送水量であり、放流量 1 中の内訳量である。

(注3) 各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

施設	項目	年月		平成26年7月					平成26年8月					平成26年9月					
		A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系			
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)	150,913					194,897					152,800							
	場内返送水量 (m ³ /日)	14,781					15,050					13,458							
	滞留時間(注1) (時間)	0.6					0.5					0.6							
	揚水量 (m ³ /日)	152,299					197,082					153,185							
最沈殿 初池	簡易処理量 (m ³ /日)		22,406	41,600	41,523	63,879	8,619	27,323	52,785	54,032	77,451		22,318	41,485	42,486	63,830			
	生汚泥量 (m ³ /日)		198	282	279	397		196	306	301	408		165	282	279	392			
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)		82.4	78.8	78.6	90.2		93.2	87.8	89.8	94.6		82.1	78.6	80.5	90.2			
	沈殿時間 (時間)		0.7	0.8	0.8	0.7		0.7	0.7	0.7	0.6		0.7	0.8	0.7	0.7			
生物反応 タンク	高級処理量 (m ³ /日)		22,208	41,318	41,244	63,481	8,619	27,126	52,478	53,731	77,043		22,152	41,203	42,207	63,438			
	返送汚泥量 (m ³ /日)		10,102	8,476	7,975	12,212		10,225	10,306	10,272	14,551		10,086	8,256	8,173	12,220			
	返送率 (%)		45.6	20.5	19.3	19.3	0.0	40.4	19.8	19.2	19.0		45.6	20.0	19.4	19.3			
	循環水量 (m ³ /日)			9,488															
	循環率 (%)			22.5															
	滞留時間(Q) (時間)		10.0	8.1	10.8	10.3		8.8	6.7	8.7	8.8		10.0	8.1	10.6	10.3			
	滞留時間(Q+R) (時間)		6.9	6.7	9.1	8.6		6.2	5.6	7.3	7.4		6.9	6.8	8.9	8.6			
	空気量 (m ³ /日)		89,589	171,667	159,283	193,701		85,726	166,196	152,569	173,457		90,674	161,771	149,853	178,763			
	下水当り空気倍率 (倍)		4.1	4.2	3.9	3.1	0.0	3.4	3.4	3.0	2.4		4.1	3.9	3.6	2.8			
	除去BOD当り空気倍率 (倍)		62.2	64.0	60.2	42.9		65.6	55.5	39.6	38.4		66.1	66.5	47.6	39.5			
	除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)		0.9	0.6	0.5	0.6		0.9	0.3	0.4	0.3		0.5	0.8	0.2	0.5			
	活性汚泥	MLSS (mg/L)		1,390	1,580	1,280	1,400		1,130	1,490	1,310	1,220		1,290	1,570	1,280	1,320		
		SV (%)		39	41	30	33		24	40	36	32		25	42	32	36		
		SVI		277	263	237	234		209	268	271	264		194	267	247	274		
		RSSS (mg/L)		4,430	6,240	4,930	5,540		4,140	5,490	4,410	4,460		4,120	6,110	4,410	5,390		
		MLDO 入口 (mg/L)		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.1		0.0	0.0	0.0	0.0		
	MLDO 出口 (mg/L)		1.7	1.7	1.4	1.4		1.9	2.0	1.6	1.5		1.4	1.5	1.4	1.4			
	SRT (日)		11.8	15.8	20.9	18.5		10.1	16.9	22.5	20.1		13.4	13.1	21.5	17.8			
	S A (日)		21.2	16.7	15.9	14.7		19.1	14.8	13.6	14.0		18.9	17.4	15.7	13.9			
	BOD-SS負荷 (kg/kg・日)		0.12	0.14	0.13	0.13		0.12	0.17	0.18	0.15		0.12	0.13	0.16	0.13			
	BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)		0.16	0.23	0.15	0.18		0.15	0.25	0.24	0.18		0.15	0.20	0.20	0.17			
	Ca・t (MLSS × 滞留時間) (pg/L)		13,784	12,580	13,614	14,258		10,289	9,915	11,414	10,663		12,476	12,377	12,901	13,285			
	PAC注入率 (pg/L)			130.0					150.0					57.0					
最沈殿 終池	終沈流出量 (m ³ /日)		21,943	41,077	40,963	63,081	8,619	26,890	52,273	53,467	76,642		21,899	40,982	41,970	63,075			
	余剰汚泥量 (m ³ /日)		265	241	281	401		237	206	264	401		253	222	238	364			
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)		17.4	16.8	16.7	22.9		21.4	21.4	21.8	27.9		17.4	16.7	17.1	22.9			
	越流負荷 (m ³ /m・日)		52.0	48.4	48.3	112.0		63.7	61.6	63.1	136.1		51.9	48.3	49.5	112.0			
	沈殿時間 (時間)		5.5	5.7	5.8	4.2		4.8	4.8	4.6	3.6		5.5	5.8	5.6	4.2			
急ろ過 速池	処理水量 (m ³ /日)		177,710						169,181						169,830				
	滞留時間 (時間)		0.06						0.06						0.06				
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)		411.4						391.6						393.1				
塩混和 池	放流量 1 (m ³ /日)		150,871						194,873						152,763				
	塩素注入率 (mg/L)		2.1						1.9						2.0				
	滞留時間 (時間)		0.4						0.3						0.4				
	放流量 2(注2) (m ³ /日)		1,438						1,437						1,437				

(注1) 揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。

(注4) A系の簡易処理量、高級処理量は生物反応槽への汚水貯留量である。

(注2) 放流量 2 は長岡京市(勝竜寺堀水)への送水量であり、放流量 1 中の内訳量である。

(注3) 各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

施設	項目	年月	平成26年10月					平成26年11月					平成26年12月					
			A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系	
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量	(m ³ /日)	148,019					141,679					144,811					
	場内返送水量	(m ³ /日)	13,351					13,015					13,110					
	滞留時間(注1)	(時間)	0.6					0.6					0.6					
	揚水量	(m ³ /日)	148,627					142,981					145,718					
最沈殿 初池	簡易処理量	(m ³ /日)		22,425	38,323	41,970	62,512		23,414	23,534	46,611	64,775		23,971	24,257	47,121	66,072	
	生汚泥量	(m ³ /日)		162	266	281	392		161	142	277	393		159	141	273	393	
	水面積負荷	(m ³ /m ² ・日)		82.4	78.3	79.5	88.3		86.1	89.1	88.3	91.5		88.1	91.9	89.3	93.3	
	沈殿時間	(時間)		0.7	0.8	0.8	0.7		0.7	0.7	0.7	0.7		0.7	0.7	0.7	0.6	
生物反応 タンク	高級処理量	(m ³ /日)		22,263	38,057	41,689	62,119		23,252	23,392	46,333	64,382		23,812	24,116	46,847	65,678	
	返送汚泥量	(m ³ /日)		10,181	7,619	8,079	11,996		10,124	4,489	8,941	12,374		10,194	4,608	8,990	12,580	
	返送率	(%)		46.0	20.1	19.4	19.3		43.6	19.2	19.3	19.2		42.9	19.1	19.2	19.1	
	循環水量	(m ³ /日)		7,066	10,483	15,121	18,975		3,340	4,158	7,054	9,194		13,204	9,726	25,150	28,671	
	循環率	(%)		31.8	26.4	37.7	30.9		14.0	18.4	14.9	14.0		55.9	41.0	54.7	43.9	
	滞留時間(Q)	(時間)		10.0	8.2	10.8	10.5		9.6	7.2	9.6	10.1		9.3	6.9	9.5	9.9	
	滞留時間(Q+R)	(時間)		6.9	6.8	9.0	8.8		6.7	6.0	8.1	8.5		6.5	5.8	8.0	8.3	
	空気量	(m ³ /日)		83,212	150,420	148,609	181,640		74,642	95,789	177,160	195,838		68,428	95,421	162,397	185,855	
	下水当り空気倍率	(倍)		3.7	4.0	3.6	2.9		3.2	4.1	3.7	3.1		2.9	4.0	3.5	2.8	
	除去BOD当り空気倍率	(倍)		62.2	71.2	55.4	42.6		48.8	57.2	50.1	39.5		50.0	64.9	52.6	42.5	
	除去BOD当り余剰汚泥発生量	(kg/kg)		0.8	0.5	0.4	0.5		0.6	0.5	0.5	0.7		1.0	0.5	0.7	0.4	
	活性汚泥	MLSS	(mg/L)		1,200	1,540	1,240	1,330		1,460	1,510	1,520	1,440		1,430	1,630	1,500	1,380
		SV	(%)		25	38	29	31		40	31	35	34		42	40	38	34
	泥性	SVI			210	244	233	231		275	205	232	234		291	249	254	248
		RSSS	(mg/L)		3,970	6,520	4,470	5,450		4,530	6,100	6,570	6,350		4,760	6,390	5,910	5,990
	性状	MLDO 入口	(mg/L)		0.0	0.0	0.0	0.1		0.0	0.0	0.0	0.1		0.0	0.0	0.0	0.1
MLDO 出口		(mg/L)		1.9	1.7	1.6	1.5		3.9	1.8	1.8	1.5		1.7	2.2	1.6	1.5	
SRT	(日)			16.9	12.6	25.4	16.6		12.7	10.8	17.0	15.2		12.3	10.7	21.2	16.8	
	S A	(日)		19.8	16.4	14.7	15.2		19.0	14.4	15.5	14.3		19.8	13.1	14.2	13.6	
	BOD-SS負荷	(kg/kg・日)		0.12	0.12	0.12	0.12		0.14	0.18	0.15	0.14		0.11	0.15	0.13	0.13	
	BOD-容積負荷	(kg/m ³ ・日)		0.15	0.19	0.15	0.16		0.20	0.28	0.22	0.20		0.16	0.23	0.18	0.17	
Ca・t(MLSS × 滞留時間)				11,816	12,253	12,740	13,797		13,893	10,901	14,261	14,355		13,123	11,041	13,923	13,581	
PAC注入率				130.0					160.0					120.0				
最沈殿 終池	終沈流出量	(m ³ /日)		22,026	37,842	41,460	61,727		23,017	23,249	46,026	63,979		23,589	23,989	46,556	65,266	
	余剰汚泥量	(m ³ /日)		237	216	229	393		236	143	308	403		223	127	292	412	
	水面積負荷	(m ³ /m ² ・日)		17.5	16.7	16.9	22.4		18.3	19.0	18.8	23.2		18.8	19.6	19.0	23.7	
	越流負荷	(m ³ /m・日)		52.2	48.2	48.9	109.6		54.5	54.8	54.3	113.6		55.9	56.6	54.9	115.9	
	沈殿時間	(時間)		5.5	5.8	5.7	4.3		5.3	5.1	5.1	4.1		5.1	4.9	5.1	4.0	
急ろ過 速池	処理水量	(m ³ /日)	181,284					176,570					169,403					
	滞留時間	(時間)	0.06					0.06					0.06					
	容積負荷	(m ³ /m ³ ・日)	419.6					408.7					392.1					
塩混和 素池	放流量 1	(m ³ /日)	147,998					141,663					144,800					
	塩素注入率	(mg/L)	1.9					2.0					1.9					
	滞留時間	(時間)	0.4					0.4					0.4					
	放流量 2(注2)	(m ³ /日)	1,440					1,445					1,438					

(注1) 揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。

(注2) 放流量 2 は長岡京市(勝竜寺堀水)への送水量であり、放流量 1 中の内訳量である。

(注3) 各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

(注4) A系の簡易処理量、高級処理量は生物反応槽への汚水貯留量である。

施設	項目	年 月	平成27年1月					平成27年2月					平成27年3月				
			A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系	A系	B系	C系	D系	E系
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量	(m ³ /日)	147,103					141,586					153,521				
	場内返送水量	(m ³ /日)	13,382					10,279					13,013				
	滞留時間(注1)	(時間)	0.6					0.6					0.6				
	揚水量	(m ³ /日)	148,064					142,472					154,620				
最 初 沈 殿 池	簡易処理量	(m ³ /日)		20,109	43,906	47,540	68,430		44,854	44,891	66,093		21,818	45,518	50,761	70,201	
	生汚泥量	(m ³ /日)		158	251	273	397		264	266	399		183	246	263	398	
	水面積負荷	(m ³ /m ² ・日)		85.2	90.3	90.0	96.7		85.0	85.0	93.4		80.2	91.2	93.7	99.2	
	沈殿時間	(時間)		0.7	0.7	0.7	0.6		0.7	0.7	0.6		0.8	0.7	0.6	0.6	
生物反応 タンク	高級処理量	(m ³ /日)		19,950	43,654	47,266	68,032		44,589	44,625	65,693		21,635	45,271	50,498	69,802	
	返送汚泥量	(m ³ /日)		8,817	9,900	12,010	17,111		8,760	8,665	12,817		9,152	8,706	9,714	13,368	
	返送率	(%)		43.4	25.8	25.7	25.7		19.7	19.4	19.5		42.4	19.2	19.2	19.2	
	循環水量	(m ³ /日)		23,842	10,833	19,076	20,677		10,626	10,992	12,823		4,733	8,252	9,261	11,177	
	循環率	(%)		108.8	30.9	41.7	31.6		24.0	24.7	19.5		23.2	19.0	18.9	16.2	
	滞留時間(Q)	(時間)		9.7	7.1	9.5	9.6		9.8	10.0	9.9		11.0	9.2	8.9	9.3	
	滞留時間(Q+R)	(時間)		6.7	5.7	7.6	7.7		8.2	8.4	8.3		7.7	7.7	7.5	7.8	
	空気量	(m ³ /日)		60,854	156,105	164,514	187,382		150,187	160,416	198,448		58,892	133,275	158,342	197,908	
	下水当り空気倍率	(倍)		2.9	3.6	3.5	2.8		3.4	3.6	3.0		2.7	3.0	3.2	2.8	
	除去BOD当り空気倍率	(倍)			48.6	40.3	32.5		32.1	33.5	30.5			39.0	38.4	35.8	
	除去BOD当り余剰汚泥発生量	(kg/kg)			0.4	0.3	0.7		0.7	0.3	0.4			0.5	0.3	0.3	
	活 性 汚 泥	MLSS	(mg/L)		1,540	1,680	1,510	1,500		1,460	1,520	1,520		1,150	1,390	1,460	1,440
		SV	(%)		38	47	36	46		44	33	38		20	42	32	27
	性 状	SVI			248	281	241	302		299	216	245		173	296	218	187
		RSSS	(mg/L)		5,090	6,810	5,870	5,740		6,540	5,590	6,020		3,930	5,520	5,620	4,810
	MLDO	入口	(mg/L)		0.1	0.0	0.0	0.1		0.0	0.1	0.2		0.1	0.0	0.0	0.1
		出口	(mg/L)		3.7	2.5	2.1	1.6		2.5	1.6	2.0		1.0	2.4	1.8	2.0
SRT	(日)			13.9	13.0	10.8		11.6	24.5	14.6		9.3	12.2	15.4	22.7		
S A	(日)			11.3	11.1	11.6		12.6	11.8	12.9		9.8	12.4	13.2	11.7		
BOD-SS負荷	(kg/kg・日)			0.18	0.17	0.17		0.20	0.18	0.19			0.15	0.15	0.16		
BOD-容積負荷	(kg/m ³ ・日)			0.31	0.26	0.23		0.27	0.28	0.28			0.21	0.21	0.22		
Ca・t	(MLSS × 滞留時間)			14,499	11,831	13,821	13,946		13,772	14,978	14,723		11,040	13,502	13,344	13,415	
PAC注入率	(pg/L)			370.0					290.0				130.0				
最 終 沈 殿 池	終沈流出量	(m ³ /日)		19,779	43,414	46,909	67,469		44,208	44,380	65,248		21,408	44,898	50,173	69,401	
	余剰汚泥量	(m ³ /日)		172	241	358	564		382	246	446		228	373	325	402	
	水面積負荷	(m ³ /m ² ・日)		18.1	19.2	19.2	24.5		18.1	18.1	23.7		17.0	19.9	20.5	25.2	
	越流負荷	(m ³ /m・日)		54.1	55.5	55.3	119.8		52.1	52.3	115.9		50.7	57.4	59.2	123.2	
	沈殿時間	(時間)		5.3	5.0	5.0	3.9		5.3	5.3	4.1		6.1	4.9	4.8	3.8	
急 過 速 池	処理水量	(m ³ /日)	172,359					166,054					167,628				
	滞留時間	(時間)	0.06					0.06					0.06				
	容積負荷	(m ³ /m ³ ・日)	399.0					384.4					388.0				
塩 混 和 池	放流量1	(m ³ /日)	147,092					141,572					153,502				
	塩素注入率	(mg/L)	2.1					2.5					2.7				
	滞留時間	(時間)	0.4					0.4					0.4				
	放流量2(注2)	(m ³ /日)	1,433					1,430					1,472				

(注1) 揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。

(注2) 放流量2 は長岡京市(勝竜寺堀水)への送水量であり、放流量1 中の内訳量である。

(注3) 各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を算出した。

施設	項目	年間平均値(注4)					
		A系	B系	C系	D系	E系	
沈砂池 揚水ポンプ	流入下水量 (m ³ /日)	151,187					
	場内返送水量 (m ³ /日)	13,577					
	滞留時間(注1) (時間)	0.6					
	揚水量 (m ³ /日)	152,332					
最初期 沈殿池	簡易処理量 (m ³ /日)	8,619	22,825	40,802	45,838	66,710	
	生汚泥量 (m ³ /日)	-	179	252	277	398	
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)	-	84.3	85.3	86.0	93.0	
	沈殿時間 (時間)	-	0.7	0.7	0.7	0.6	
生物反応 タンク	高級処理量 (m ³ /日)	8,619	22,646	40,549	45,561	66,312	
	返送汚泥量 (m ³ /日)	-	9,880	8,139	9,028	13,084	
	返送率 (%)	-	44.1	20.3	19.8	19.8	
	循環水量 (m ³ /日)	-	10,437	10,906	14,168	16,257	
	循環率 (%)	-	46.7	28.6	31.2	24.9	
	滞留時間(Q) (時間)	-	9.9	7.9	9.9	9.9	
	滞留時間(Q+R) (時間)	-	6.9	6.5	8.3	8.3	
	空気量 (m ³ /日)	-	77,519	150,447	162,677	193,694	
	下水量当り空気倍率 (倍)	-	3.4	3.8	3.6	3.0	
	除去BOD当り空気倍率 (倍)	-	57.6	55.2	48.1	38.9	
	除去BOD当り余剰汚泥発生量 (kg/kg)	-	0.8	0.5	0.4	0.5	
	活性汚泥 性状	MLSS (mg/L)	-	1,330	1,550	1,390	1,400
		SV (%)	-	31	40	31	33
		SVI	-	233	258	223	232
		RSSS (mg/L)	-	4,360	6,220	5,140	5,430
		MLDO 入口 (mg/L)	-	0.0	0.0	0.0	0.1
		MLDO 出口 (mg/L)	-	2.1	1.9	1.7	1.7
	SRT (日)	-	12.5	13.0	20.3	17.4	
	S A (日)	-	18.3	14.0	13.7	13.3	
	BOD-SS負荷 (kg/kg・日)	-	0.12	0.16	0.15	0.15	
BOD-容積負荷 (kg/m ³ ・日)	-	0.17	0.25	0.21	0.20		
Ca・t(MLSS × 滞留時間)	-	-	12,716	11,996	13,511	13,711	
PAC注入率 (pg/L)	-	-	-	153.5	-	-	
最終 沈殿池	終沈流出量 (m ³ /日)	8,619	22,411	40,310	45,280	65,892	
	余剰汚泥量 (m ³ /日)	-	235	241	281	420	
	水面積負荷 (m ³ /m ² ・日)	-	18.1	18.4	18.6	23.9	
	越流負荷 (m ³ /m・日)	-	53.8	53.2	53.6	117.0	
	沈殿時間 (時間)	-	5.4	5.3	5.2	4.0	
急過 速池	処理水量 (m ³ /日)	173,613					
	滞留時間 (時間)	0.06					
	容積負荷 (m ³ /m ³ ・日)	401.9					
塩素 混合池	放流量 1 (m ³ /日)	151,165					
	塩素注入率 (mg/L)	2.1					
	滞留時間 (時間)	0.4					
	放流量 2(注2) (m ³ /日)	1,441					

(注1) 揚水ポンプの滞留時間は沈砂池、ポンプ井、吐出井、分配槽の滞留時間である。

(注2) 放流量 2 は長岡京市(勝竜寺堀水)への送水水量であり、放流量 1 中の内訳量である。

(注3) 各管理状況数値については各施設の運転がなされた日や分析を行なった日の数値等を用いて算出し、それぞれについて月別に平均値を求めたものを年間で平均した。

(注4) 年間平均値は月平均の平均を表す。

(6) 流入下水・放流水質の経年変化

試料名 試験項目		流入下水											
		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度			
		年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均	年最大	年平均		
P	H		7.5	7.3	7.5	7.3	7.7	7.3	7.6	7.3	7.7	7.3	
		(年最小)	(6.7)		(6.9)		(7.0)		(7.1)		(7.1)		
B	O	D	(mg/L)	136	101	152	103	197	121	156	124	163	122
S		S	(mg/L)	124	86	128	92	170	106	168	109	148	102
大腸菌群数			(個/cm ³)	1,000,000	180,000	750,000	180,000	700,000	180,000	1,100,000	190,000	550,000	170,000
全窒素			(mg/L)	35.6	19.2	26.3	19.5	27.1	21.4	27.1	22.8	27.6	22.7
全りん			(mg/L)	2.84	2.24	3.04	2.29	3.94	2.55	3.34	2.56	3.46	2.50
カドミウム			(mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.003
シアン			(mg/L)	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05
有機りん			(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
鉛			(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
六価クロム			(mg/L)	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04
ひ素			(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
総水銀			(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
アルキル水銀			(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
PCB			(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
トリクロロエチレン			(mg/L)	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008
テトラクロロエチレン			(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
シクロロメタン			(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
四塩化炭素			(mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,2-シクロロエタン			(mg/L)	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004
1,1-シクロロエチレン			(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
シス-1,2-シクロロエチレン			(mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004
1,1,1-トリクロロエタン			(mg/L)	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03
1,1,2-トリクロロエタン			(mg/L)	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
1,3-シクロプロパン			(mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
チウラム			(mg/L)	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
シマジン			(mg/L)	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003
チオベンカルブ			(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
ベンゼン			(mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
セレン			(mg/L)	0.004	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
ほう素			(mg/L)	0.13	0.11	0.14	0.11	0.13	0.10	0.12	0.10	0.17	0.10
ふっ素			(mg/L)	0.2	0.1	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
アンモニア性窒素等含有量			(mg/L)	5.8	4.3	6.7	4.4	6.3	4.9	6.7	5.3	6.9	5.5
1,4-ジオキサン			(mg/L)					< 0.05	< 0.05	< 0.005	< 0.005	0.019	< 0.005
ダイオキシン類			(pg-TEQ/L)	0.12	0.12	0.24	0.24	0.18	0.18	0.20	0.20	0.14	0.14
油分(鉱油類含有量)			(mg/L)	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
油分(動植物油脂類含有量)			(mg/L)	26	18	15	13	12	10	18	18	20	14
フェノール類			(mg/L)	0.03	0.03	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
銅			(mg/L)	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02
亜鉛			(mg/L)	0.11	0.08	0.08	0.08	0.06	0.06	0.07	0.06	0.07	0.07
溶解性鉄			(mg/L)	0.31	0.16	0.18	0.17	0.21	0.20	0.20	0.16	0.28	0.21
溶解性マンガン			(mg/L)	0.06	0.06	0.07	0.07	0.05	0.05	0.07	0.06	0.15	0.08
全クロム			(mg/L)	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03
ニッケル			(mg/L)	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05
硫酸イオン			(mg/L)	34.2	28.4	28.5	26.1	29.6	26.2	31.4	27.8	28.3	26.6
よう素消費量			(mg/L)	10.9	7.4	9.9	7.1	14.3	7.7	15.2	8.0	11.9	8.2

(注) 年最大、年平均はそれぞれ全データの最大、全データの平均を表す。

試験項目	試料名 年度	放 流 水									
		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
		年最大	年平均								
p H		7.1	6.8	7.3	6.9	7.4	6.9	7.3	6.9	7.3	6.9
	(年最小)	(6.3)		(6.5)		(6.6)		(6.5)		(6.4)	
B O D	(mg/L)	6.6	2.7	5.7	2.9	6.8	2.9	4.3	2.4	5.9	2.5
S S	(mg/L)	3	< 1	3	< 1	3	< 1	2	< 1	5	< 1
大腸菌群数	(個/cm ³)	280	8	260	13	220	12	140	5	160	5
全窒素	(mg/L)	12.4	10.0	12.8	9.2	12.5	9.3	11.7	9.4	11.5	8.8
全りん	(mg/L)	2.16	1.18	2.95	1.28	2.35	1.41	1.77	1.20	1.96	1.33
カドミウム	(mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.003	< 0.003
シアン	(mg/L)	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05
有機りん	(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
鉛	(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
六価クロム	(mg/L)	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04	< 0.04
ひ素	(mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01
総水銀	(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
アルキル水銀	(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
P C B	(mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
トリクロロエチレン	(mg/L)	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008
テトラクロロエチレン	(mg/L)	0.003	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
シクロロメタン	(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
四塩化炭素	(mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,2-シクロロエタン	(mg/L)	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004
1,1-シクロロエチレン	(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
シス-1,2-シクロロエチレン	(mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
1,3-シクロプロペン	(mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
チウラム	(mg/L)	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
シマジン	(mg/L)	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003
チオベンカルブ	(mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002
ベンゼン	(mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
セレン	(mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
ほう素	(mg/L)	0.13	0.10	0.11	0.10	0.11	0.10	0.11	0.10	0.11	0.09
ふっ素	(mg/L)	0.1	< 0.1	0.1	< 0.1	0.2	< 0.1	1.0	0.1	0.2	0.1
アンモニア性窒素等含有量	(mg/L)	10.2	8.4	11.2	7.8	11.2	8.0	10.2	8.1	10.1	7.5
1,4-ジオキサン	(mg/L)					< 0.05	< 0.05	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.0042	0.0042	0.00091	0.00091	0.00051	0.00051	0.00029	0.00029	0.00036	0.00036
油分(鉱油類含有量)	(mg/L)	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
油分(動植物油類含有量)	(mg/L)	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5
フェノール類	(mg/L)	0.03	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
銅	(mg/L)	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
亜鉛	(mg/L)	0.05	0.03	0.25	0.08	0.06	0.03	0.04	0.03	0.06	0.03
溶解性鉄	(mg/L)	0.12	< 0.08	0.35	< 0.08	0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08
溶解性マンガン	(mg/L)	0.05	0.03	0.10	0.04	0.04	0.03	0.04	0.03	0.05	0.03
全クロム	(mg/L)	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03	< 0.03
ニッケル	(mg/L)	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05
陰イオン界面活性剤	(mg/L)	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1
非イオン界面活性剤	(mg/L)	< 0.02	< 0.02	0.04	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02
COD汚濁負荷量	(kg/日)	1939.8	1212.6	2159.5	1249.3	1617.6	1116.3	2846.1	1100.6	2123.2	1107.9
T-N汚濁負荷量	(kg/日)	2006.3	1119.0	1880.3	1090.2	1883.5	1073.9	2071.3	1007.0	1588.7	1016.3
T-P汚濁負荷量	(kg/日)	254.84	116.36	346.13	131.09	272.29	142.84	285.80	126.26	318.93	137.94

(注) 年最大、年平均はそれぞれ全データの最大、全データの平均を表す。